

緩和ケア特化 20室 高崎

老人ホーム「フラの風」

病気に伴う患者の心「緩和ケア」に特化した住宅型有料老人ホーム「緩和ケア」に特化した住宅型有料老人ホーム



緩和ケアに特化したフラの風



協定書を交わす石田学長（左）とリハネスの井上専副社長

ム「フラの風」（高崎市箕郷町西明屋）が開設した。24時間常駐する看護師が外部の医師と連携して医療的なケアを行うとともに、患者や家族が抱える不安の緩和に取り組み。

近くで訪問看護ステーションを運営する仙人倶楽部（同所、萩原佳子社長）が昨年3月に開設した。同社によると、県内で株式会社「緩和ケア施設を設けた初の事例で、県の経営革新計画にも承認された。

家族が遠方に住んでいるなどの事情で在宅療養が難しい患者らが対象となる。具体的には、重度のがん患者や筋萎縮性側索硬化症

患者が入居する。平屋建てで個室やホール、浴場などを備える。20室ある個室（13平方メートル）には、電動ベッドと脈拍や血中酸素濃度を測定する生体監視モニターなどを配備。たんすやテレビを持ち込むことができ、仏壇を置く人もいるという。個々の病状や嗜好機能に応じた食事も提供する。

萩原社長は、父をがんで亡くした経験から施設の開設に思い至った。「静かな環境の中で利用者と家族が大切な時間を過ごせる施設にしたい」と話している。

（丸山卓郎）

上毛新聞

4月7日

木曜日 先負

発行所（〒371-8666）
前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社
（総合）027-254-9911
（編集）027-254-9933
（広告）027-254-9944
（販売）027-254-3131
（事業）027-254-9955
©上毛新聞社 2022年